

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 空欄アに入る原子力発電所の名前を、次から選んで記号で書きましよう。

- ①チェルノブイリ ②スリーマイル ③ザポリージャ
- ④スモレンスク

2 空欄イに入る北大西洋条約機構の略称をアルファベット4文字で書きましよう。

3 空欄ウに入る条約名を次から選んで記号で書きましよう。

- ①戦略兵器削減条約 ②核兵器禁止条約 ③化学兵器禁止条約
- ④部分的核実験禁止条約

4 傍線部のように、公式文書を残せなかったことで明らかになったこととはなんでしょう。記事をまとめて書きましよう。

1  2  3

4

\* 解答は次ページ NIEワークシート中～高校

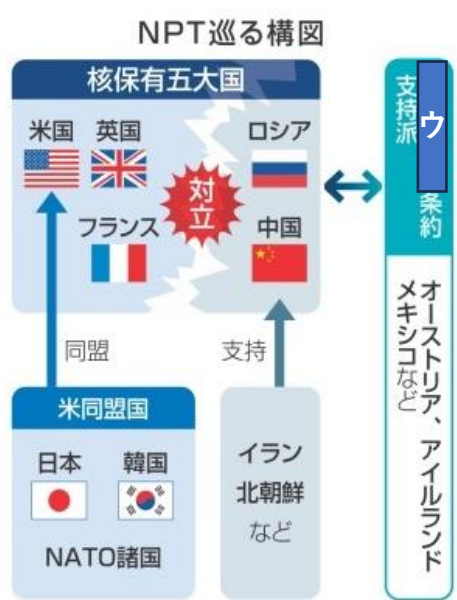
# 「米欧と中ロ」

ウィーンで開かれた核拡散防止条約（NPT）再検討会議の第1回準備委員会は11日、議長総括を公式文書として残せない異例の形で閉幕した。ロシアのウクライナ侵攻で核危機が深まる中「核保有国と非保有国」という従来型の対立構図に加え「米欧と中ロ」という保有国間の対立が鮮明化。国際社会の分断という「厳しい現実」（欧州外交筋）がNPTの今後に重くのしかかっている。

「核軍縮を議論する雰囲気ではない」（軍縮筋）。議長総括を公式文書として残すことにはイランが反対し、中国とロシアが同調。非保有国の間では会期中、核保有国同士の対立を嘆く声

## 核保有国間の対立鮮明

### 「軍縮議論する雰囲気でない」



上がった。今回の準備委は2026年の再検討会議に向けた1回目の。昨年8月の再検討会議は最終文書の採択にロシアが反対、15年に続き決裂に終わった。それだけに26年の決裂は「絶対に回避しなければならぬ」（非保有国の軍縮筋）状況だ。「NPTにとって重要な問題を進展させることがど

れだけ難しいことなのかを示された」。閉幕後、欧州外交筋がこぼした。「一方的に隣国を攻撃したり民間の原子力施設を危険にさらしたりしているのは米国ではない」。米国はこう訴え、ウクライナに侵攻し欧州最大の「ア」原発の占拠を続けるロシアを念頭に置いた批判を展開。核威嚇を続けるロシア

に対し、欧州諸国からも難の声が相次いだ。一方のロシアは欧米の核の同盟である北大西洋条約機構（「イ」）について「われわれを弱体化させることを狙って」拡大していると主張。米欧との間で繰り返し火花を散らした。核兵器を違法化した「ウ」を支持する非核保有国は、核軍縮の進展が遅いとして核保有国へのいら立ちを募らせる。加えて今回の準備委では、核保有国間の鋭い対立も影を落とした。

こうした状況について、非保有国の軍縮筋は「（準備委の）議論を通じて保有国間の対立は一層深まった」と指摘。ロシアのウクライナ侵攻が続く限り、核軍縮を巡る状況は暗いと思

通した。（ウィーン共同）

## NIEワークシートのこたえ（2023年8月14日公開）

◆ワークシート「核保有国間の対立鮮明(社会・国際)」  
2023.8.13付 朝刊 国際総合 解答

1 ③      2 NATO      3 ②

4 核保有国と非保有国の対立、米欧と中ロ  
という保有国間の対立という、国際社会の分  
断が明らかになった。など同意可